

左京はあとふるプラン

ニュースレター第11号



平成26年7月発行／京都市左京区役所地域力推進室

左京区役所では、平成23年度からの10年間のまちづくりの指針である「左京はあとふるプラン」（左京区基本計画）が目指す「自然を愛で、歴史を学び、文化を楽しむ」まちづくりを進めています。

このニュースレターでは、「左京はあとふるプラン」の推進に関する情報をお伝えしていきます。

平成26年度 第1回 京都市次代の左京まちづくり会議を開催

5月21日に、平成26年度第1回京都市次代の左京まちづくり会議を開催しました。会議では、今年度、区で取り組む事業や、まちづくり活動支援交付金の申請状況の説明を行うとともに、「左京はあとふるプラン」の進捗管理やリーディングプロジェクトについて議論しました。



公募委員として新たに 2名の委員が就任

今年度から新たに市民公募委員の方2名に就任いただきました。

市民目線、若者の視点で、忌憚ない意見をいただけることを期待します。



三榎 友梨香委員



森 俊貴委員

「左京はあとふるプラン」の進捗について

26年度の取組予定について（意見交換の概要）

○ 「美しい自然のまちづくり」に関して

北部農林業振興対策の取組に関して、「ふるさと森都市フェスティバル」にバスがもっと出るようになるとうい。また、鳥獣被害対策に関しては、地域や行政で、知識を共有し、対策ができる人を育てるという方向が必要だと考える。

○ 「歴史・文化・学問のまちづくり」に関して

「京の伝統文化体験 in 大学のまち左京」に関して、大学でも華道部ができるなど、伝統文化に興味のある若者が増えたと感じる。今の国際社会において、日本がどんな国かと聞かれたときに答えられるようにすべきだと思うし、そのためにも、伝統文化を子ども・若者にもっと知ってもらう必要がある。左京は大学のまちであり、アートも盛んなので、伝統文化と大学やアートのコラボも目指していきたい。

○ 「ひとにやさしいぬくもりのまちづくり」に関して

「アウトドア婚活・山村都市めぐり愛ツアー」に関して、昔、地域にいた世話焼きの人のように、声を掛けていく人が必要だと思う。委員自ら周りの若者への声掛けなどの協力をしたい。また、参加者の気持ちに沿ったチラシの表現や募集の仕方などに工夫が必要。

区基本計画リーディングプロジェクト①

「左京の自然を愛でるプロジェクト～チマキザサの再生を左京から」

概要 左京区北部の花脊・別所地域等に分布するチマキザサは、古くから祇園祭の厄病・災難除けのお守りの粽の材料や和菓子等に使用されてきたが、笹枯れと野生鹿の食害などで絶滅の危機に瀕している。本プロジェクトでは、区民・祇園祭鉾町等との連携を図りつつ、チマキザサの再生に向けた取組を推進し、将来的に祇園祭や和菓子業界での活用復活を目指す。

26年度 予定

- ①花背小中学校と高倉小学校の交流事業の実施
チマキザサのふる里である花背小中学校児童と祇園祭に関わりの深い高倉小学校児童が、チマキザサを介して交流し学び合うことで、北部山間地域の自然とまちなかの文化の結びつきを知り、将来に継承していくきっかけとする。
- ②新たな苗畑・植樹場所の確保及び柵設置事業の実施
アクセスしやすい場所（国道477号線から近い場所等）で苗畑・新たな植樹場所の確保を行い、柵の設置、笹の移植等作業をワークショップ形式で数回に分けて実施する。



主な意見

- ・防鹿柵の効果などの調査もしながら、確実に復活できるようにしたい。ササを育てたいという声掛けやパネル展示の依頼をいただいたりと、関心をもっていただいている。
- ・今年は「ふるさと森都市フェスティバル」と同日に行うため期待しているし、他にも様々な事業と連携させることで、多くの方に関心を持っていただきたい。

区基本計画リーディングプロジェクト②

「まちの居場所ではっとプロジェクト@左京」

概要 左京区内で、誰もが気軽に利用できる居場所を増やしていくとともに、保健福祉局の「高齢者の居場所づくりに対する助成制度」の助成要件に対応できるよう支援等を行い、地域での顔の見える関係づくりを進める。

26年度 予定

- ①居場所の運営者の養成を目的とした左京区まちの居場所塾を開催
- ②区内の居場所に関する実態調査の実施
- ③ホームページ等でのまちの居場所情報の発信



左京区まちづくり活動支援交付金の申請状況等について

平成24年度に、これまでの制度を拡充して創設した「左京区まちづくり活動支援交付金」について、今年度は、新たに「重点分野部門」を設けるなど再編し、平成26年4月14日から5月16日まで申請を受け付けました。

部門別

区基本計画の目標別

26年度申請状況(※)	部門	事業数	申請金額	区基本計画の目標	事業数	申請金額
	重点分野部門(上限70万円)(新設)	15	5,653,206円	美しい自然のまちづくり	12	4,549,195円
	地域活動部門(上限50万円)	18	4,895,947円	歴史・文化・学問のまちづくり	17	4,218,171円
	大学・学生部門(上限10万円)	5	438,280円	ひとにやさしいぬくもりのまちづくり	10	2,920,067円
	朝カフェ・区民提案プロジェクト部門	1	700,000円	合計	39	11,687,433円
	合計	39	11,687,433円			

(※ 最終的な申請額を記載していますので、会議時の資料と一部金額が異なります。)

区基本計画の進ちょく管理について

区基本計画策定から3年が経過しており、区基本計画の進ちょく状況の点検について検討する必要がある。

⇒「京都市次代の左京まちづくり会議」の委員のうち少人数で集まり、点検方法について検討することとなりました。

